

次期観測研究計画の検討の進め方について

1. 目的

平成31年度から5か年の観測研究計画として実施してきた「災害の軽減に貢献するための地震火山観測研究計画（第2次）」のレビュー（自己点検評価）及び外部評価を受けて、その趣旨を踏まえた新しい観測研究計画案を作成する。

2. 検討体制

次期観測研究計画案について、地震火山観測研究計画部会で検討し、測地学分科会での審議を踏まえ、新しい観測研究計画の策定を行う。計画案の作成にあたっては、地震・火山噴火予知研究協議会の協力を得る。

3. 次期観測研究計画取りまとめ委員の選定

地震火山観測研究計画部会において、次期観測研究計画取りまとめ委員（大湊臨時委員、関口臨時委員、橋本専門委員）を選定する。

取りまとめ委員は、地震火山観測研究計画部会における次期観測研究計画に係る議論の取りまとめにおいて、中心的な役割を果たす。

4. 今後の作業スケジュール

令和4年度 10月27日 地震火山観測研究計画部会（第48回）

- ・次期観測研究計画に関して、地震・火山噴火予知研究協議会を中心に検討された、たたき台をもとに討議。

以降、令和5年5月頃までに次期観測研究計画の検討を議題とした地震火山観測研究計画部会を5回程度開催。

令和5年度 6月頃 測地学分科会・地震火山観測研究計画部会 合同会議

- ・次期観測研究計画 審議経過報告、中間とりまとめ

夏～秋頃 一般からの意見公募実施

令和5年度内 次期観測研究計画の建議